

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下の構成になっています。

- 取扱説明書 設置編(本書) :  
本機の安全上の注意、設置上のお願い、設置方法について記載しています。
- 取扱説明書 基本編(下記ウェブサイト内) :  
本機の使用上のお願い、詳細仕様について記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編(下記ウェブサイト内) :  
本機の操作や設定方法について記載しています。  
[https://sol.panasonic.biz/security/support/manual\\_dl\\_j.html](https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html)

取扱説明書に記載されている「<管理番号: Cxxxx>」は、以下の弊社サポートウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。  
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

パナソニックi-PRO  
センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2020

\* PGQX2418ZA\* Cs0920-0 Printed in China

## 保証とアフターサービス

## よくお読みください

使いた・お手入れ・修理などは

## ■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 ( ) - お買い上げ日 年 月 日

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?」でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

## ■ 使いた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

## ■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

## 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグローバル関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知させていただきます。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## 注意：

- カメラに接続される直流電源は同じ建屋内になければなりません。
- 外部設置からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- 本機に電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断するように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 本機にはDC12 Vのクラス2電源(UL 1310/CSA 223)か、または供給電力が制限される有限電源(IEC/EN/UL/CSA 60950-1またはIEC/EN/UL/CSA 62368-1 Annex Q)を使用してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ 直流電源記号

## 安全上のご注意

## 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

## ■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
<b>■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)</b>			

## ■ 禁止

- 異物を入れない  
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります)  
⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- 可燃性ガスの霧気中に使用しない  
(爆発によるけがの原因となります)
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない  
(取扱場所が劣化し、落下によるけがが事故の原因となります)
- 落とさない、強い衝撃を与えない  
(けがや火災の原因となります)
- SDXC / SDHC / SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない  
(誤って飲み込むおそれがあります)  
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- ぶら下がらない、足場代わりにしない  
(けがや事故の原因となります)
- 電源ケーブルを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、など)  
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります)  
⇒修理の際は販売店にご相談ください。
- 風が強い場所に設置しない  
(風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります)
- 高圧洗浄機などで本機の防水性能を超える水をかけない  
(浸水による火災や感電の原因となります)

## ■ 警告

## ■ 禁止

- 分解しない、改造しない  
(火災や感電の原因となります)  
⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
- 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない(工事時を含む)  
(感電の原因となります)
- 本工事は販売店に依頼する  
(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります)  
⇒必ず販売店に依頼してください。
- 异常があるときは、すぐ使用をやめる  
(煙が出る、にあがくする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります)  
⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- 総質量に耐える場所に取り付ける  
(落下や転倒によるけがや事故の原因となります)  
⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。
- 定期的に点検する  
(金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります)  
⇒点検は販売店に依頼してください。
- 専用の取付金具を使用する  
(落下によるけがや事故の原因となります)  
⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。
- ネジやボルトは指定されたトルクで締め付ける  
(落下によるけがや事故の原因となります)
- 配線は電源を切ってから行う  
(感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります)
- 人がぶつからない高さに取り付ける  
(けがの原因となります)
- 落下防止対策を施す  
(落下によるけがの原因となります)  
⇒落下降止ワイヤーを必ず取り付けてください。
- 振動のないところに設置する  
(取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります)
- 記録は正しく行う  
(ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります)
- 防雪対策を施す  
(雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります)  
⇒ひさしなどで防雪してください。
- 設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかりと取り付ける  
(けがや事故の原因となります)

## ■ 注意

## ■ 禁止

- 金属のエッジで手をこすらない  
(強くこするとけがの原因となります)
- 角度調整時は可動部に手を触れない  
(可動部に指をはさみ、けがの原因となります)
- お手入れのときは電源を切る  
(けがの原因となります)

## オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコード入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本機の設定メニューの「サポート」ページの「本製品で使用しているOSSについては、こちらを参照ください。」をクリックして、表示される内容をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 著作権について

GPL/LGPLのその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

## 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します\*。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。  
※個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

## 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- SDXCカードはSD-3C, LLCの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle ChromeはGoogle LLCの商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- その他の、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

## 設置上のお願い

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、弊社では責任を負いません。  
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

## ■ 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

## ■ 傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

■ 本機の取付場所について  
設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。

- 強度が十分ある天井(コンクリート天井など)に取り付けてください。
- 建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードや木部は強度が弱いので取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

## ■ 以下のような場所での設置および使用はできません

- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶浴および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所

## ■ 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所

- 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所

● 使用温度範囲を超える場所

- 車両、船舶や工場ラインなどの振動の多い場所(本機は車載用ではありません)

●エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場所

- 硫黄を含むゴム製品(パッキンやゴム足など)が近くにある場所

## ■ 取付ねじの締め付けについて

インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損したり締め付けすぎたりします。

## ■ ヒーターについて

寒冷地でもご使用いただけよう、本機内部にヒーターが組み込まれています。ヒーターは、内部温度が約0℃以下になると自動的に動作します。

-20°C以下の環境で設置・使用開始すると、電源投入直後はヒーターによって本機内部が温まるのを待ってから起動しますので、起動に時間がかかる場合があります。また-25°C以下の環境で設置・使用開始すると、正常に使用できないことがあります。この場合は本機が温まるのを待ってから(約2時間以上)再度、電源を入れてください。

本機が温まるのを待つことでフロントパネルに付着した雪や霜が解凍されます、周囲の温度や風雪の程度によっては解凍できない場合があります。

## ■ 外光や赤外線照明の反射について

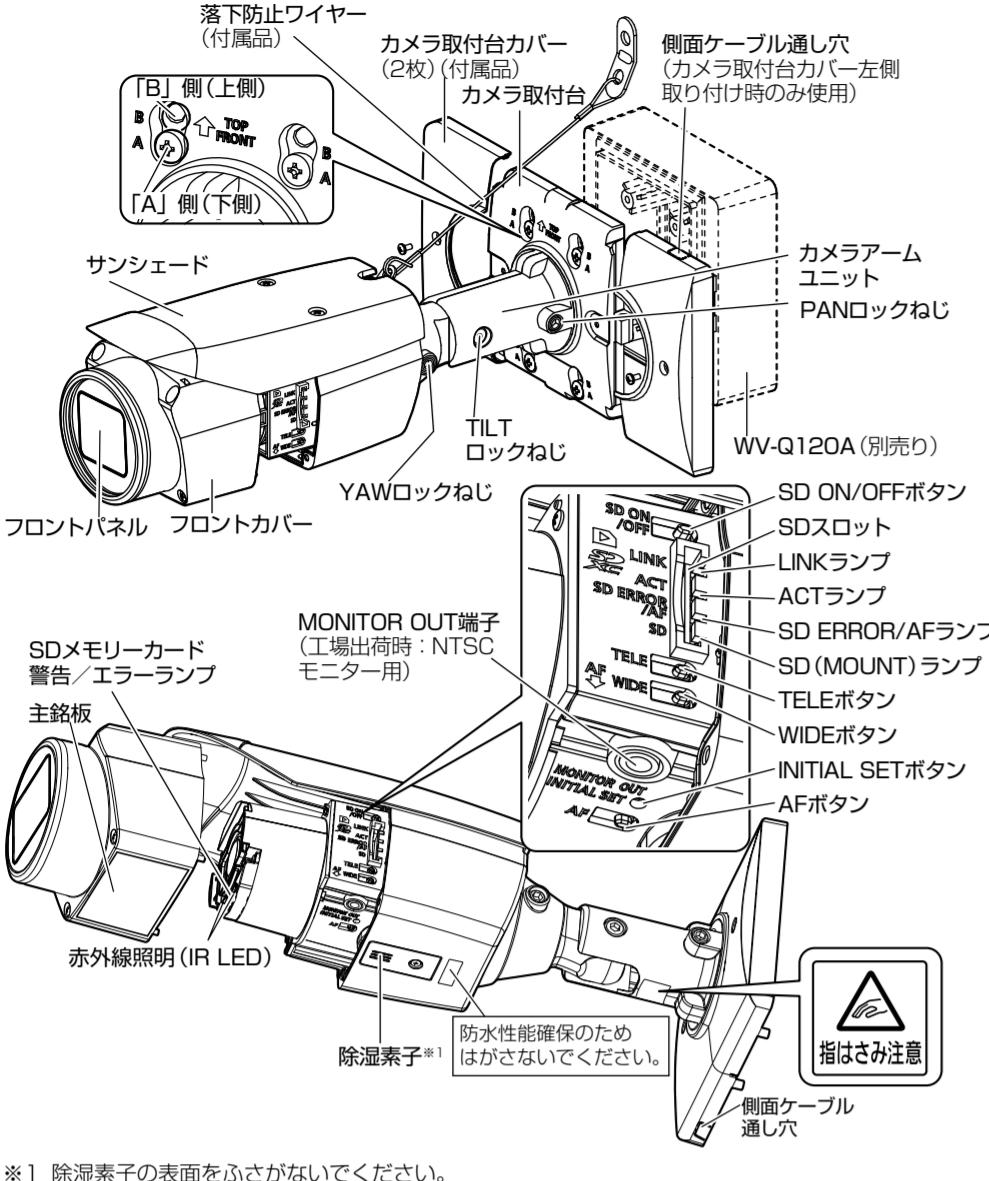
外光の入射角によって、画面にゴーストが現れることがあります。また赤外線照明を使用する場合、本機を壁面などの近くに設置すると、赤外線が反射して画面の一部または全体が白っぽく見えることがあります。

- 写真撮影と対処の方法についてはサポートウェブサイト<管理番号: CO109>を参照してください。

## ■ 濕度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりフロントパネル内が曇ることがあります。

## 各部の名前



## ■ランプ

メモ	● ランプの点灯／点滅はソフトウェアの設定で常時消灯することができます（初期状態は点灯および点滅）。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
LINKランプ	接続機器と通信可能になったとき 橙点灯
ACTランプ	カメラがデータ送受信時 緑点滅（アクセス中）
SD（MOUNT）ランプ	SDメモリーカードを挿入して認識できたとき 消灯→緑点滅→消灯 SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し（1秒以下）、保存可能な状態になったとき 緑点灯 SDメモリーカードに保存できる状態のとき 緑点灯 SD ON/OFFボタンを長押し（約2秒間）してSDメモリーカードを（録画中） 緑点灯→緑点滅→消灯 （録画待機中） 緑点灯→消灯 SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき 消灯
SD ERROR/AFランプ	赤点滅（1回/秒） AF（オートフォーカス）実行中 赤点灯 カメラが起動中 赤点灯 正常にSDメモリーカードが認識されたとき 赤点灯→消灯 起動後SDストロボ未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出されたとき 赤点灯→赤点灯のまま
SDメモリーカード警告／エラーランプ（初期状態は消灯）	警告状態を検出したとき 赤点灯 (警告検出条件：稼働時間 6年経過、上書き回数 2,000回超) 赤点灯 エラー状態を検出した場合（エラー検出条件：ライトエラー、リードエラーなど） 赤点滅

## ■ボタン

- INITIAL SETボタン（初期化ボタン / NTSC⇒PAL切替ボタン）  
本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。ボタンを短く押す（1秒以下）と、MONITOR OUT端子の出力を切り換えることができます（NTSC⇒PAL）。工場出荷時はMONITOR OUT端子出力はNTSC出力になっています。
- 電源を 切る → ボタンを押しながら 電源を入れる → 15秒 ボタンを 約2分 本機が起動して、ネットワーク設定を必ず繋ぐ → データを含む設定が初期化される
- ※初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。
- SD ON/OFFボタン  
・ボタンを押す（1秒以下）と SD（MOUNT）ランプが緑点灯し、SDメモリーカードへのデータ保存が可能になります。  
・ボタンを長押し（約2秒間）すると SD（MOUNT）ランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。
- AFボタン ボタンを押すと、自動でフォーカスを調整します。  
● TELEボタン ボタンを押すと、ズーム（倍率）を「望遠」方向に調整します。  
● WIDEボタン ボタンを押すと、ズーム（倍率）を「広角」方向に調整します。

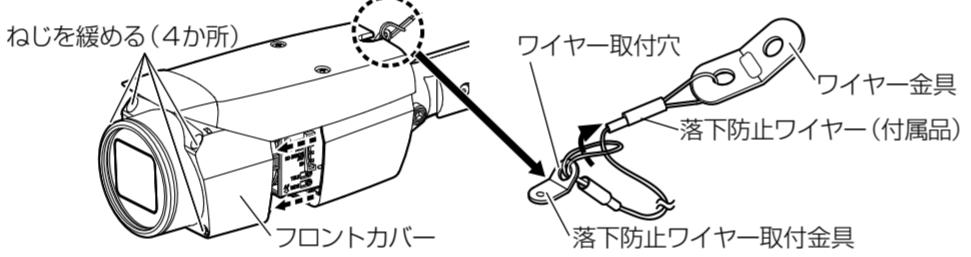
## Step1 準備をする

[1] 落下防止ワイヤーを取り付ける。

[2] フロントカバーを取り外す。  
保護フィルムは外さないでください。

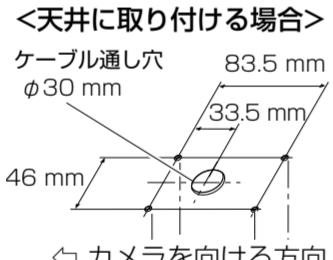
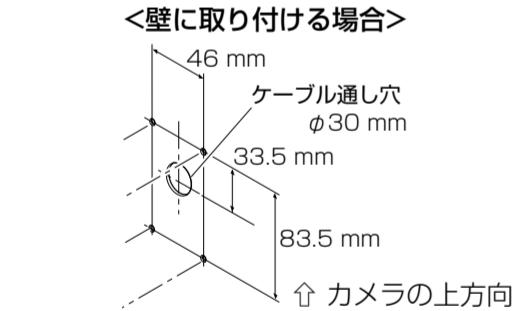
[3] 必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。

SDメモリーカードの取り付け・取り外しについては右下の「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」部分をお読みください。



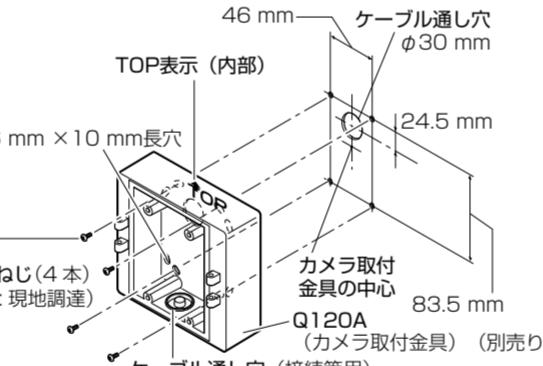
## Step2 設置面を加工する（取付タイプに合わせて加工する）

直付け 側面ケーブル通し穴を使用する場合は、下図および右図の「ケーブル通し穴」は不要です。



## SWボックス

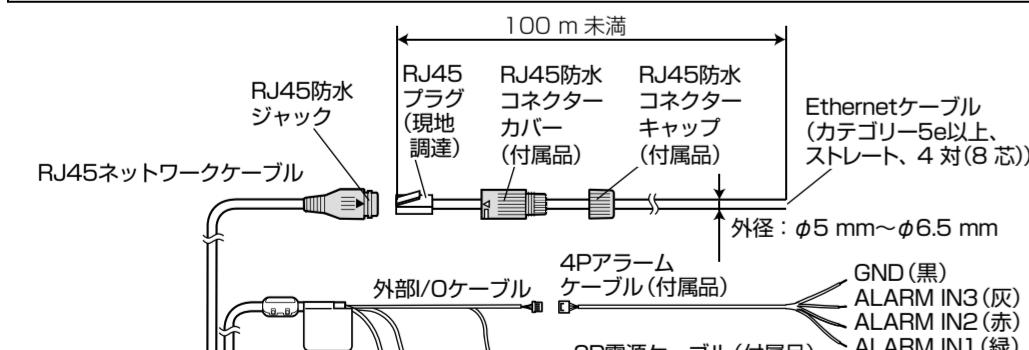
既設のスイッチボックスを使用する場合は加工する作業はありません。



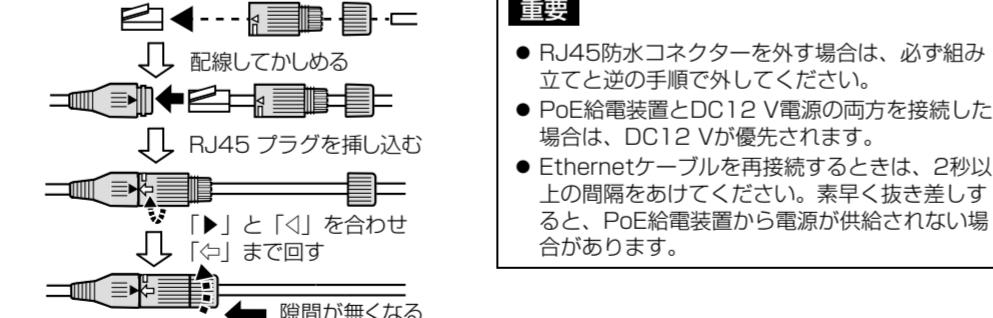
## Step3 ケーブルを接続する

### 重要

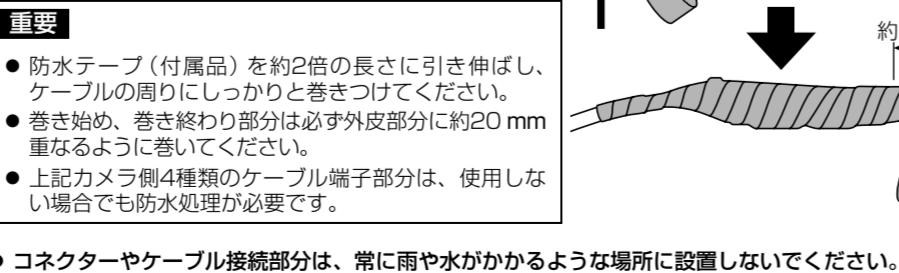
- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブ／PoE給電装置またはDC12V外部電源です。
- ケーブル類を接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。



## RJ45防水コネクターの接続方法



## 外部I/Oケーブル、電源接続ケーブル、 オーディオ入力ケーブル、オーディオ出力 ケーブルの防水処理



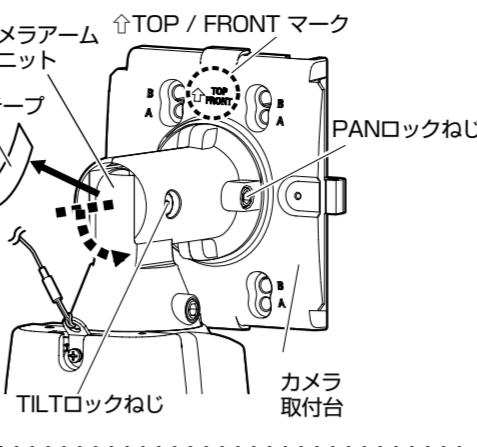
## Step4 固定する

### 共通

TILTロックねじを対辺5 mmの六角レンチ（現地調達）を使って緩め、カメラを下に向かえたあとに保護テープをはがして仮締めしてください。

### メモ

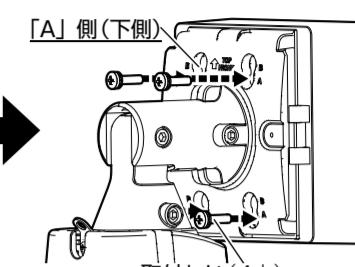
- 以下の3種類の設置方法では、次の手順で4本のねじを固定していきます。  
① カメラが下を向いた状態でカメラの固定用ねじ（上側2本）を固定する。  
② PANロックねじを緩めてカメラを180度回転させ上向きにし、PANロックねじを仮固定する。  
③ カメラの固定用ねじ（下側2本）を固定する。



### Q120A

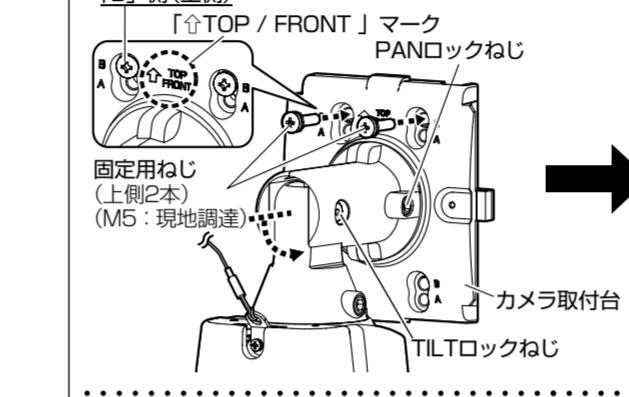
- ① カメラ取付台の左右どちらかのヒンジ部にカメラ取付台を取付けし、開閉できるようにします。
- ② 推奨締付トルク : 1.86 N·m (19 kgf·cm)

メモ  
● 取付ねじは「共通」のメモに記載されている順番で固定します。



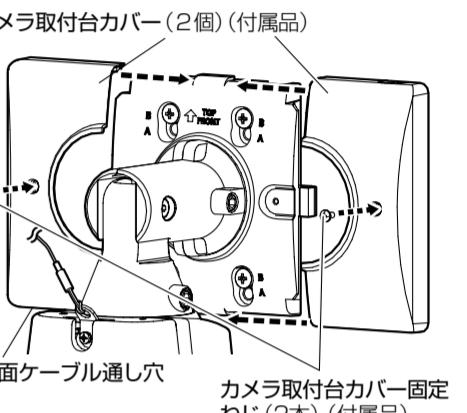
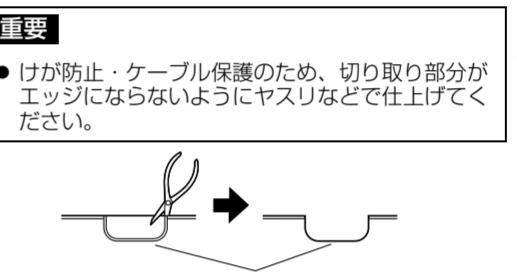
### 直付け

最低引抜強度 : 724 N (74 kgf) / 1本あたり



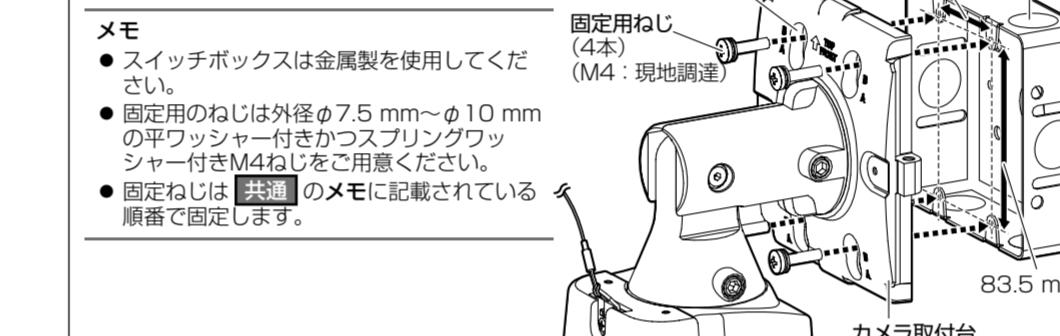
### 共通

- ケーブルを側面から引き出す場合は、取り付け前にカメラ取付台カバーの「側面ケーブル通し穴」部分をニッパーなどで切り取ります。



### SWボックス

最低引抜強度 : 724 N (74 kgf) / 1本あたり



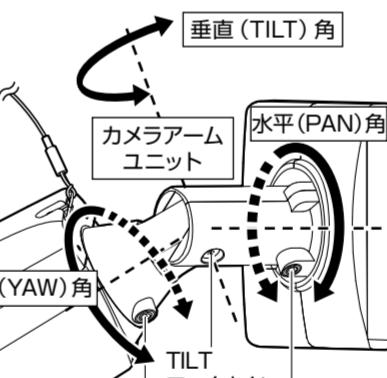
## Step5 調整する

[1] カメラ本体の向きを下向きからカメラが正面に見える向きに変更して仮固定する。

[2] カメラ本体のMONITOR OUT端子にピンケーブル（現地調達）を取り付け、調整用モニターを接続し、カメラの電源を入れる。

### 3] カメラの向きを調整する。

- ① 対辺5 mmの六角レンチ（現地調達）を使ってPANロックねじ・TILTロックねじを緩め、カメラの向きを合わせて仮固定します。
- ② YAWロックねじを緩め、カメラ本体を回転させて、カメラの傾きを調整します。  
水平(PAN)角 : ±180°  
垂直(TILT)角 : 0°～100°  
傾き(YAW)角 : -190°～+100°



### 重要

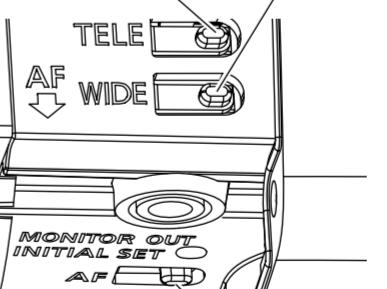
- 垂直 (TILT) 角を変更する際は、指が挟まらないようご注意ください。
- 水平 (PAN) 角は±180°以上回さないでください。内部ケーブルがよじれるおそれがあります。
- PANロックねじ・TILTロックねじ・YAWロックねじは約1回転緩めれば、調節可能です。必要以上に緩めないでください。

### 4] ズームとフォーカスを調整する。

- ① 右図を参照し、WIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の角（視野角）に調整し、AFボタンを押してフォーカスを合わせます。
- ② 必要な場合は水平(PAN)角、垂直(TILT)角、傾き(YAW)角でカメラの向きを再調整します。

### メモ

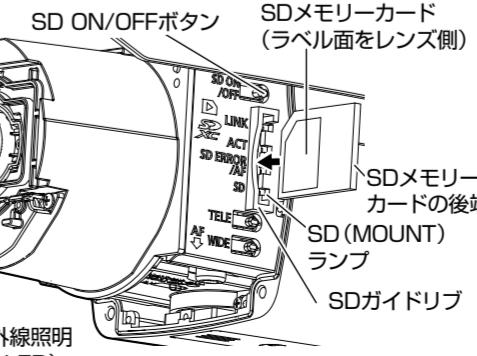
- 解像度を1280×720よりも高めに設定している場合は、ズームの倍率によって画質が劣化することがあります。詳細はサポートウェブサイト<管理番号: CO124>を参照してください。



## SDメモリーカードの取り付け・取り外し

### SDメモリーカードを取り付ける

- ① カメラよりフロントカバーを取り外す。
- ② SDメモリーカードをSDスロットの奥まで入るように押込み、カチッと音がする事を確認する。
- ③ SDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端がSDガイドリブの高い部分より飛び出していることを確認する。
- ④ SD ON/OFFボタンを押し、SD（MOUNT）ランプが点滅していることを確認する（SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に自動的にSD（MOUNT）ランプが点灯します）。
- ⑤ フロントカバーをもとの位置に取り付ける。



### SDメモリーカードを取り外す

- 取り外す場合は、取り付けと逆の手順で取り外してください。  
SD ON/OFFボタンを長押し（約2秒）し、SD（MOUNT）ランプが点滅から消灯に変わったことを確認してからSDメモリーカードを取り出してください。
- 重要  
● 本機の電源を切る前に必ずSD（MOUNT）ランプが消灯していることを確認してください。  
● 本機の電源を切り、フロントカバー部分を取り外して本機からSDメモリーカードを取り外すときは、左図の赤外線照明（IR LED）周辺が高温になっている場合がありますのでご注意ください。
- メモ  
● SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。設定、フォーマットのしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。  
● 最新的動作確認済みSDメモリーカード情報などは、サポートウェブサイト<管理番号: CO107>を参照してください。